

生田町連だより

生田町連管内の人口（令和6年12月末現在）

総人口：76,187人 男：38,443人 女：37,744人 世帯数：41,138世帯

第149号

発行所：生田地区町会連合会

発行人：会長 西尾 信

編集人：総務部長 井上 信

事務局：多摩区役所生田出張所内

電話：044-933-7111



2024.2月撮影【五反田川河津桜】

紙面案内

〔1面〕

- 巻頭写真（五反田川河津桜）

〔2面〕

- 令和6年度要望書の回答
- 第37回川崎市自治功労賞
- 婦人部講習会
- 交通部コラム

〔3面〕

- 多摩区消防出初式
- 外遊びイベント
- 生田地区ポッチャ体験会
- 生田地区野球大会

〔4面〕

- 地域の伝統行事紹介①「明王不動尊のどんと焼きと季節の祭」
- 地域の伝統行事紹介②「五反田神社の歴史と行事」
- 生田あれこれNo.51「生田出張所新広場愛称決定」
- 編集後記

楽しさ満載、スリル満点！

※営業日時などの詳細は公式サイトをご覧ください。

よみうりランド 遊びを、まん中に。

TEL 044(966)1111

屋内御廟（納骨堂）申込受付中

墓地新区画受付中
法事・葬儀随時受付

信行寺 春秋苑

お問い合わせ 044-977-3466
<https://www.shunjuen.or.jp>

4月2日（水）は市民開放日

午前9時～午後4時

入場料・イベント料 **無料**

川国で遊ぼう！



川崎国際生田緑地ゴルフ場

TEL 044-934-1555 FAX 044-933-5612

<https://www.tokyu-golf-resort.com/kawasaki/>

「生田町連だより」は、以上三社の御協賛により年3回発行され、生田地区全域に回覧されています。

令和6年度要望書の回答

令和6年10月16日に生田町連より多摩区長あてに提出した要望事項について回答がありました。回答の概要は以下のとおりです。(生田地区町会連合会副会長 手塚 達雄)

【要望1】

小田急線向ヶ丘遊園4号踏切の
①踏切幅を拡幅する②踏切内の

歩行者の安全確保を図る③踏切上部の道路を拡幅する

【回答】

①鉄道事業者と協議を重ねたものの、関係する一部土地所有者の協力を得られず実施できない状況。

②③踏切道内の歩行者空間確保や踏切南側道路(踏切上部)の用地確保に向けて測量を実施中。

【要望2】

生田歩道橋下交差点付近の道路の拡張について

当該部分に鉄製のポールやコンクリート製の築堤があるため、歩行者が退避するスペースがなく、車同士がすれ違うこともできない。ポールや築堤を撤去し、車道に作り替えてほしい。

【回答】

築堤は民地を支える擁壁に

なっており撤去することは困難。また築堤を撤去しても生田歩道橋の橋脚基礎が支障となりボトルネックが解消できない。

当該道路は都市計画道路中野島生田線の計画があり将来的に拡幅する予定があるため、まちづくりの進展と合わせて協議・調整を図っていく。

第37回川崎市自治功労賞 井上 信氏が受賞

第37回川崎市自治功労賞の授賞式が令和7年2月7日川崎市総合自治会館で行われ、多摩区からは生田団地自治会会長の井上信氏が受賞されました。誠におめでとうございます。井上さんは20年の長きにわたり自治会長の職責をはたしてこられました。その間、自治会員の方々の生活や福祉の向上に

努めると同時に、御自身が健康で楽しく過ごせたことに対して御家族への感謝の念も忘れずにこられました。これからも自治会長、生田地区町会連合会総務部長としてのご活躍をご期待しております。

(生田地区町会連合会理事(総務部) 本多 正典)



婦人部の講習会を実施しました

令和6年11月19日に婦人部会の講習会を開催しました。今回は2部構成での講習会となっており、前段で整理収納アドバイザーの椎名ともこ氏による『片づけで叶える』人生後半の身軽で快適な暮らし方』をテーマとした講習、後段で多摩生活環境事業所の職員の方による、片付けた後に出てくる不用品の処分についての講習を実施しました。

例年よりも多い43名の方に御出席いただき、アンケートの結果も「良い」「まあ良い」が8割を超える結果となりました。

講習会のお土産でお渡しした、クローゼットや押入れ、キッチンなどの片付けにくい場所にポイントを絞った「整理収納ハンドブック」はまだ在庫がありますので、興味がある方は事務局(生田出張所)までお問い合わせください。

(生田地区町会連合会婦人部長 山口 洋子)



交通部コラム

自転車にも車と同様に交通ルールがあります。日常的に利用することが多い自転車ですが、最近はルール違反やマナー違反を目にすることも増えてきました。

近年、車と同様に自転車もルール順守が強化されています。この機会に改めてルールを確認してみましょう。

自転車安全利用5則

- ①車道を走る 左側通行
歩道走行は例外的 歩行者優先
- ②交差点では信号を守って一時停止
- ③夜間はライト点灯
- ④飲酒運転禁止 酒類、自転車の提供も禁止
- ⑤ヘルメット着用

※自転車を運転している大人、子供、同乗している幼児、全ての方がヘルメットを着用する必要があります。

道路交通法の改正で、自転車運転中のながらスマホや酒気帯び運転にも罰金や懲役等が科せられるようになりました。またイヤホンやヘッドホンの使用、傘さし運転、2人乗り、並進運転(並進可を除く)も対象になります。

時代と共に自転車に関するルールは大きく変わっています。私たちの意識もアップデートしていきましょう。

(生田地区町会連合会交通部長 井田 雅春)



新春恒例 多摩区消防出初式

今年も古き伝統のある多摩区消防出初式が、令和7年1月13日(月・祝)穏やかな晴天の下、稲田中学校に於いて開催されました。当日は、多摩区長を初め多くの来賓が出席し、消防署員、消防団員、区内各消防協力団体が参列する中、多摩消防署長、消防団長が式辞で「火災は多発し、救急出場件数も増加している為、更なる防火・防災対策の強化」を呼びかけました。

その後、消防活動で功績のあった団体、個人(生田町連では山田茂氏、土淵自治会、生田宿自治会)が表彰されました。

式典では今年も稲田中学校の吹奏楽部

による演奏、チアダンス部による演技が花を添えました。

最後に校庭に出て一斉放水が行われ式典が終わりました。



(生田地区町会連合会防火防災部長 加藤 寛之)



外遊びイベントを実施しました

令和6年12月14日(土)、生田出張所新広場にて「第21回思いっきり外遊び」を開催しました。

天候にも恵まれ、子どもから大人まで177人の方に御参加いただきました。木工や石ころアートなどの工作、こまやけん玉などの昔遊びやロープ遊び、寒い冬にぴったりの焚き火など、自然とふれあいながら

楽しめるブースを配置し、終始、笑顔が溢れるイベントとなりました。

日常ではなかなかできない体験に、子どもも大人も夢中になっていました。来年度も開催する予定ですので、興味のある方はお気軽に御参加ください。子どもも大人も思いっきり遊びましょう!



生田地区ポッチャ体験会

令和6年12月15日(日)生田小学校体育館で生田地区ポッチャ体験会が行われました。

ポッチャは1988年からパラリンピックの正式競技にもなっているパラスポーツで生田地区でも2019年から体験会を行っています。途中コロナによるパンデミックが生じましたが、今年で4回目の実施となります。

老若男女を問わず楽しめる競技で、今年

度は地区内から総勢34名 計12チームがエントリーし、体験会を行いました。

今後、生田地区内の地域団体等へポッチャなどの用品の貸出も行う予定です。こういった活動が地域の皆さんとの交流や活性化につながると信じています。これからも、みなさんの参加をお待ちしています。

実施委員が簡単なゲームの流れとルール説明を行いますので、体験会初参加でもお気軽にどうぞ!!

(生田地区ポッチャ体験会実施委員長 松澤 彰男)



寺尾台星が丘JBCが連覇!!「第71回生田地区野球大会」

「生田地区野球大会」が11月下旬~12月上旬にかけて行われました。

町連だよりの記事になるのは約10年ぶりとなり、第71回を迎えます。

この大会は地域の野球チームに所属する6年生の引退試合を担っており、地域に根付いた大会です。

寒さを吹き飛ばす子供たちの白熱した試合は今年から3位決定戦を設けたこともあり、3日間続きました。

この地域から今期、大活躍した大谷選手のような、プレイヤーがでてくれたらなあという願いながら、今後子ども達のサポートをしていきたいと思っています。

6年生!!お疲れ様でした。協力、参加してくださった皆さんありがとうございました。

(生田地区野球大会実施委員長[多摩区子ども会連合会生田支部長] 小山 富士子)



地域の伝統行事紹介①

明王不動尊のどんど焼きと季節の祭

古くから地域で親しまれているどんど焼き。その歴史は100年以上遡り、明王地区の方々に組織する「明王不動講」によって執り行われています。明王不動尊の歴史や行事について、明王不動講の方々に話を伺いました。

この地区では「正月飾りは7日の風に当てるな」と言い伝えられてきており、6日の夕方までに門松を取り、翌7日の朝に焚き上げます。以前は神様を祭った小屋を竹や藁で作り、その中に正月飾りを入れて小屋ごと焚き上げており、子供たちがその炎で紅白餅を焼く姿が見られたそうです。現在は当日の朝に正月飾りを持ち込む地域の方々が不動講のメンバーと話しながらか、焚き上げる炎を見守ります。



▲どんど焼きの様子



▲初護摩祭の様子

明王不動尊では他にも1月28日の初護摩祭、10月27日前後の日曜日の万燈祭(まんどうまつり)、初詣等が行われます。

初護摩祭は去年のお札を集めて焚き上げ、その煙で新しいお札等を清め、これからの1年間のお守りとする行事です。

万燈祭は「おこもり祭」と呼ばれており、10月27日から28日にかけて明王不動尊に籠って秋の五穀豊穡を祝ったことが由来となっています。以前は祭りの名前にもなっている「万燈」と呼ばれる傘型の紅白の飾りと神輿を子供たちが担ぎ、地区内を練り歩きましたが、今では万燈だけを境内に据え置き、祭りを彩っています。



▲万燈

古くから明王の地を見守ってきた明王不動尊には歴史を伝えるものが数多く残されており、本堂の鐘にも逸話が残っています。太平洋戦争の際に公布された金属類回収令によって各地の寺院の鐘が供出され、明王不動尊の本堂の鐘も供出されました。ほとんどの鐘は元の地に戻ることはありませんでしたが、明王不動尊の鐘は幸いにも元の姿のまま戻ってきたそうです。



▲本堂の鐘

「これは残さなくてはいけないものだ」と判断されて戻ってきたのではないかと、不動講のメンバーの方は仰っていました。

様々な逸話と共に静かにこの地を見守る明王不動尊。季節の祭りの際に足を運んでみてはいかがでしょうか。

地域の伝統行事紹介②

五反田神社の歴史と行事

五反田地区の方々に親しまれている五反田神社。その歴史や行事について、神社の運営・維持管理を行う奉賛会(ほうさんかい)の磯野会長にお話を伺いました。



▲前年28年の記念・増改築の儀式の様子

五反田神社の歴史は古く、前身となる「山王社」が鎌倉時代に創建されます。明治時代に「八雲神社」と改称した後、昭和28年に氏子360名を動員し、60日間をかけて手作業で境内を300坪に拡張しました。その後の増改築の後、昭和34年に杉山神社より日本武尊(やまとたけるのみこと)を遷宮し、素戔鳴尊(すさのおのみこと)と合祀し、「五反田神社」が誕生しました。大正時代に完成した参道を石段に改修し、現在の姿になっています。



▲拝殿での参拝の様子

昭和44年に奉賛会が設立され、昭和53年に神輿の担ぎ手である「扇睦会(おうぎむつみかい)」が組織されました。

長い歴史を持つ五反田神社の1年は、初詣から始まります。1月1日零時から3日の午後5時までの参拝客は8千人を超え、参道の石段は参拝客で埋め尽くされます。名物の甘酒とともに、「ご縁があるように」と5円玉を入れた福袋が参拝客に配られます。

1月12日の「初拝み(はつおがみ)」を経て、2月の第1日曜日には「節分」が開催されます。拝殿での参拝を行ったのち、その年の年男・年女が小袋に入った豆を掛け声とともに境内に撒いていきます。今年はいにくの空模様だったため、豆は手渡しされました。例年、豆とお菓子を小袋に入れたものが700袋ほど用意されますが、今年の福を求めて地域の方々が大勢集まっているため、ものの10分もしないうちに撒き終わります。その後は集まった子どもたちへお菓子の詰め合わせが配られ、境内は和やかな空気に包まれます。正月飾りをお焚き上げしてもらう方、この機会にお参りをする方、甘酒のお振舞を楽しむ方と、思い思いに季節の行事を楽しんで帰路につきます。最後に奉賛会会長が「直会(なおらい)」(神様に捧げていたお神酒や野菜をいただく儀式)を執り行い、締めくくります。



▲境内の様子



▲子どもたちにはお菓子が配られる

五反田神社の行事は9月に開催される「例大祭」も有名ですが、その紹介は次の生田町連だより150号に詳しく掲載いたします。お楽しみに!

生田 あれこれ No.51

生田出張所新広場の愛称が決定!!

旧生田小学校下校庭を整備し、令和6年6月に新しくできた生田出張所新広場に愛称がつけました。区内で行った「愛称投票」の結果、総数1,442票のうち533票を獲得した『生田っ子広場』が愛称になりました。

良い名前です!皆さんに永く親しまれる場所になるといいですね!



【編集後記】

「生田町連だより」も今年度最終号となりました。今回は地域で昔から継承されている催事について掲載いたしました。結構奥深いです。地元根差した記事に重点を置き、充実した紙面で読みやすくしていきたいと思います。各町会・自治会の皆様に感謝と御礼を申し上げます。新年度もよろしく願いいたします。

(生田地区町会連合会総務部長 井上 信)